



日本プライマリ・ケア連合学会
九州ブロック支部



発行人:支部長 濑戸 信二
社会医療法人春回会

活動報告

【沖縄県】

第20回日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会のお知らせ

第20回日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会を下記日程にて開催いたします。
皆様のご参加をお持ち申し上げます。

第20回日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術集会

日 時：2026年1月31日（土）、2月1日（日）

場 所：沖縄県医師会館

沖縄県南風原町字新川218-9

テーマ：超高齢者社会におけるプライマリ・ケアのニーズを探る
～多職種でつなぐ未来～

学術大会ホームページ URL : <https://primarycare20.jp/>



【熊本県】

日本プライマリ・ケア連合学会 熊本県支部

文責 世話人 後藤 慶次

<活動報告>

・専攻医向け勉強会開催

2025年10月14日19時～（オンライン開催）

テーマ EBM

参加人数 専攻医2名 指導医4名 合計6人で開催。

内容；EBMについてショートレクチャーとどのように論文検索してどう評価していくか、実践で患者に応用できるかなど話が出来た。

・第3回JPCA熊本県支部 世話人会（オンライン開催）

2025年10月28日 19:00～20:00

参加者（敬称略・あ順）：緒方 小林 佐藤 澤田 田浦 高柳 田中 福原 宮原

1. 2025年度JPCA熊本県支部 講習会・総会 開催準備について検討

2. 看護学ワークショップ 開催準備について

2025年度 本部持ちで継続 熊本開催で検討中

3. 講習会等 JPCA 熊本県支部からの情報案内（メール）の希望者リスト
4. ニュースレターについて
九州支部からの依頼がきたらメーリングリストに共有
持ち回り制で対応 あ順
5. その他
 - (1) 第20回 JPCA 九州支部総会・学術大会@沖縄 2026年1月31日・2月1日
 - (2) 九州支部 多職種協働委員会活動
第20回 JPCA 九州支部総会・学術大会にて多職種参加できるキャリア Café を企画
 - (3) 熊本大学医学部医学科 臨床推論サークル 医灯会 結成
九州内の各大学にあるPC関連サークルが参加するメーリングリストにも参加
 - (4) 次回 世話人会 2026年1月27日(火) 19時～
*4月・7月・10月・1月 第4週火曜日 19時
- 2025年度 JPCA 熊本県支部 講習会・総会 開催
11月16日(日) 市民会館シアーズホーム夢ホール 第5.6会議室 14:00～16:30
講習会
 - ① 「強心剤が必要な慢性心不全の高齢者を多職種で在宅ケアする取り組み」
訪問看護ステーション いきいきらいふ看護師 大坪 しのぶ(敬称略)
 - ② 「島民の暮らしを守る離島医療～総合診療医の挑戦～」
下甑手打診療所 室原 誉怜(敬称略)

熊本県支部総会

講習会・総会に50名を超える参加があった。

2024年度決算報告、2025年度支部活動計画・活動報告

1. 年1回の講習会・総会の開催
2. プライマリ・ケア専門研修に関連する勉強会の開催
 - 総合診療専門研修医
 - 在宅医療専門研修医
 - 家庭医療専門研修医を対象とした勉強会等
3. 看護師認定事業（看護学ワークショップ）の開催
 - 2024年度：熊本で全国初の地方開催
 - 2025年度：2月の日曜日に開催予定（講師と調整中）
4. 熊本県独自コミュニティ（KPリスト）の運用
 - 登録者13名
 - 今後も情報発信と交流の場として活用
5. 幹事会の開催（年4回）

講習会・総会の模様



【大分県】

大分県プライマリ・ケア講習会報告書

大分県支部世話人 多田貴彦

2025年11月13日（木）、大分県薬剤師会館にて第2回大分県プライマリ・ケア講習会を開催いたしました。講師には株式会社なの花九州 さくら薬局吉塚 2000年通り店の桜田昇治先生をお迎えし、大分県内におけるプライマリ・ケア薬剤師の認知度向上を目的として対象を薬剤師に限定して実施いたしました。ZOOMを含め、計83名のご参加をいただきました。

「薬局薬剤師の為のプライマリ・ケア領域研修～知らないから知るへの一歩～」というテーマで、見学実習先の指導医からご教示いただいたTOP-Qと、プライマリ・ケア認定薬剤師の研修過程で学ばれた睡眠衛生指導について、実際の経験をもとにアンケートを取り入れた受講者参加型の形でご紹介いただきました。

TOP-Qは全行程2~3分以内で行える、2項目の問診（時事計算・誕生日記憶、山口式キツネ・ハト模倣テスト）と3つの観察点（振り向き徵候、ハンド・バレー徵候、回内・回外運動徵候）に着目したスクリーニング手法です。桜田先生はこれらを実演を交えながら非常にわかりやすく解説してくださいました。また、見学実習の際に指導医から「TOP-Qは認知症を確定診断する検査ではないため、主治医や多職種との連携が重要である」と教わり、日頃の業務でもその言葉を大切にしてこられたとのお話が印象的でした。

睡眠衛生指導については、「保険診療として点数化されていない」「人手と時間がかかる」「睡眠医療の知識があれば薬剤師でも可能」という特徴を踏まえたうえで、桜田先生が主治医と連携しながら実際に小児の保護者へ実施された事例をご紹介いただきました。質問票を提示しながら、「規則正しい生活」「朝・昼間の活動」「寝る前のリラックスと眠りへの準備」「就寝時刻のこだわり」「眠る

日本プライマリ・ケア連合学会 九州ブロック支部 ニュースレターNo.41 (2025.12)
環境」といった項目に焦点を当て、カフェイン摂取や入浴温度など具体的な生活改善のポイントを示しながら学ぶことができました。

各事例の後には、ポートフォリオとケースレポート（症例検討）の相違点が整理された説明が加えられ、認定薬剤師として求められる記録と振り返りの方法を具体的に理解することができました。さらに梶田先生ご自身の体験をACCCAの概念に基づいて振り返る場面も示され、プライマリ・ケアの理念を実際の症例にどのように適用して評価するのか、その実践的なイメージを持つことができました。これらの内容は非常に分かりやすく、受講者にとって自身の業務へどのように活かすかを考えるうえでも大変有意義であったと感じました。

最後になりますが、本講習会を通じて大分県内におけるプライマリ・ケア認定薬剤師の機運がさらに高まり、地域医療における薬剤師の役割が一層広がっていくことを心より期待し、本報告とさせていただきます。



【長崎県】

長崎県支部会活動報告

1. 2026年度・2027年度役員改選の実施について

2026年度・2027年度の役員改選を実施いたしましたのでご報告いたします。

- 2026年1月24日(土)開催予定の「第13回学術集会・講演会」にて行われる総会での承認後、
新体制のもと、活動を開始する運びとなっております。

2. 2026年度日本プライマリ・ケア連合学会 長崎県支部会

「第13回学術集会・講演会」ならびに、「第14回ポートフォリオ研修会」開催のご案内
「第13回学術集会・講演会」

日 時：2026年1月24日(土)13:30~17:45

場 所：長崎大学医学部構内（長崎市坂本1-12-4）「医学部記念講堂・ポンペ会館」

※受付場所/医学部記念講堂 開場時間/13:00

参加費：1,000円

（但し、医師・歯科医師・薬剤師：2,000円、学生及び資格取得2年目まで：無料）

《プログラム》

① 特別講演 (13:30~15:00) 医学部記念講堂

講師：前田 隆浩 先生

長崎大学病院 総合診療科 教授/

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座 離島医療研究所
教授/

日本プライマリ・ケア連合学会 長崎県支部会 会長

演題：「地域に根差した医療への挑戦 ~地域と大学の共創を支えに~」

座長：藤井 卓 先生

藤井外科医院 院長/

日本プライマリ・ケア連合学会 長崎県支部会 副会長

② ポスターセッション (15:15~16:45) ポンペ会館

③ 総会・表彰式 (17:00~17:45) 医学部記念講堂

「第14回ポートフォリオ研修会」合同開催

日 時：2026年1月24日(土)9:00~12:30

場 所：長崎大学医学部構内（長崎市坂本1-12-4）「セミナー室」

※別途、ポスター添付いたします。



日本プライマリ・ケア連合学会 長崎県支部会

第13回学術集会・講演会

特別講演

講師 前田 隆浩 先生



長崎大学病院
総合診療科

長崎大学病院 総合診療科 教授/
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科
離島・へき地医療学講座 教授/
日本プライマリ・ケア連合学会
長崎県支部会 会長



演題『地域に根ざした医療への挑戦 ～地域と大学の共創を支えに～』



座長 藤井 卓 先生

藤井外科医院 院長/
日本プライマリ・ケア連合学会
長崎県支部会 副会長

日 時 2026年1月24日(土) 13:30～15:00
場 所 長崎大学医学部 記念講堂 (長崎市坂本1-12-4)

特別講演のみのご参加は参加費無料
事前申込み不要

主 催：日本プライマリ・ケア連合学会 長崎県支部会
後 援：長崎市医師会
(日本医師会生涯教育講座「地域医療」1.5単位付与)

【お問合せ】

日本プライマリ・ケア連合学会 長崎県支部会
(長崎大学病院 総合診療科内 担当：重村)
TEL : 095-819-7591 FAX : 095-819-7372
E-Mail : pcn-office@ml.nagasaki-u.ac.jp

日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会

第13回学術集会・講演会

日 時 2026年1月24日(土)13:30~17:45

場 所 長崎大学医学部構内(長崎市坂本1-12-4)
(医学部記念講堂・ポンペ会館・セミナー室)

*受付場所／医学部記念講堂 開場時間／13:00

合同開催のご案内

同日、午前中に第14回長崎県ポートフォリオ研修会を
合同開催いたします。主に総合診療専門研修プログラムの
専攻医と指導医が対象となります。

日本プライマリ・ケア連合学会認定研修講座

●医師単位 5単位 ●薬剤師単位 2単位 ●OFF-JT単位

- ・ポートフォリオ研修会 3 単位(臨床)
- ・特別講演 1.5単位(臨床)
- ・ポスターセッション 1.5単位(研究)



プログラム

特別講演

(13:30~15:00)

医学部記念講堂

講 師：長崎大学病院 総合診療科 /
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
離島・へき地医療学講座 縮島医療研究所
教授 前田 隆浩 先生
演 題：地域に根ざした医療への挑戦
～地域と大学の共創を支えに～

今年度のフォーラムでは、日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部の支部長である前田先生に特別講演をお願いしました。前田先生は、長年にわたってプライマリ・ケアに関する教育と研究、そして離島・へき地の医療に携わってこられました。今回の講演では、これまでの歩みを振り返りつつ、地域に根ざす医療と大学の役割について語ってもらいます。

地域医療、プライマリ・ケアに関わる多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※特別講演のみのご参加の方については参加費無料となります。

※事前申し込み不要

演題申込みフォーム 演題締切 2025年12月14日
<https://forms.gle/LG8Q8h3t8ayzHcc6>

参加費 1,000円

(但し、医師・歯科医師・薬剤師:2,000円、学生及び

資格取得2年目まで:無料)

日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会第13回学術集会・講演会
会長 前田隆浩



大会事務局:日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会

長崎大学病院 総合診療科内

E-mail : pcn-office@ml.nagasaki-u.ac.jp

TEL:095-819-7591 FAX:095-819-7372

担当:重村(長崎大学病院 総合診療科)

主 催:日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会

後 援:長崎市医師会



一般社団法人
日本プライマリ・ケア連合学会

Japan Primary Care Association

私たちは身近で良質なケアを通して、みなさんの健康を支える学術団体です。

ポスターセッション

(15:15~16:45)

ポンペ会館

みんなで支えるプライマリ・ケアをテーマ
に幅広い職種の方々に多数参加して頂
き、医療職のみならず、介護職、保健・福
祉職、学生を含めた多くの方々にご発表
頂きたいと考えています。

総会・表彰式

(17:00~17:45)

医学部記念講堂

合同開催

第14回ポートフォリオ

研修会

(9:00~12:30)

セミナー室

日本専門医機構の総合診療専門研修プロ
グラムに所属する長崎県内の専攻医が集
合し、小グループに分かれてポートフォリ
オの発表会を行い、より良いポートフォリ
オ作成に向けて指導医とともに議論し、
長崎県全体の専門研修体制のレベルアッ
プを図ります。

※主に総合診療専門研修プログラムの専
攻医と指導医が対象となります。



【福岡県】

文責 福岡県支部長 本村 和久

福岡県支部では、例年教育セミナーを開催していますが、今回は ACP および DNAR に関する理解を深め、多職種連携を強化することを目的として、2025年10月25日（土）に秋季オンラインセミナーを開催し、当日は 70 名の参加がありました。

基調講演では、北九州市健康危機管理アドバイザーの伊藤重彦先生より、「地域包括ケア社会における緊急走行しない緩やかな救急搬送システム」や「医療・介護の連携強化と施設・在宅における ACP の取組促進」に関する研究成果、さらには各種協議会での取りまとめを通じて得られた多くの知見をご講話いただきました。

続く救急分野の合同セッションでは、福岡市消防局の中村仁美先生と大木哲郎先生から、DNAR 指示が曖昧なまま救急隊が出動した事例や、現場対応が困難となったケースが紹介されました。また、福岡大学病院の喜多村泰輔先生からは、福岡市内での DNAR 意思表示の取り組みや、救急搬送における情報共有体制の課題が示されました。救急側と医療側の双方の視点が示されたことで、参加者からは「連携の必要性が具体的に理解できた」との声が多く寄せられました。

後半の在宅看取りセッションでは、在宅看護センター・ミモザの長澤祐子先生より、本人と家族が納得できる看取りのために必要なコミュニケーション支援についてご講演いただきました。続いて、顕田病院の西尾裕樹先生から、急変時の対応方針の事前整理や、在宅医として準備しておくべきポイントが紹介され、在宅医療の現場に直結する有用な内容となりました。

最後のクロストークでは、ACP・DNAR に関する多職種間の課題と今後の方向性について活発な意見交換が行われました。参加者からは「現場の実情と課題が整理できた」「今後の実践に活かしたい」といった感想が寄せられ、学びの多いセミナーとなりました。

今後も、皆様のご支援をいただきながら、福岡県支部として実り多い企画を継続して実施していくたいと考えております。

【鹿児島支部】

(1) 第83回鹿児島地域医療教育講演会

日時：令和7年12月4日（木）18:00～19:00

場所：鹿児島大学医学部 第3講義室

主催：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター
鹿児島大学医学部

鹿児島県保健福祉部 医師・看護人材課

共催：日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島支部会

後援：鹿児島県医師会

演題：「毒蛇なのに人気者 奄美のハブ」

元東京大学医科学研究所奄美病害動物研究施設 准教授/農学博士 服部 正策 先生

参加者：41名

(2) 第16回地域医療シンポジウム in 奄美

日時：令和7年12月5日（金）19:00～20:30

場所：大島郡医師会館

主催：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター
鹿児島大学医学部

共催：日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島支部会

後援：鹿児島県医師会、大島郡医師会

演題：「毒蛇なのに人気者 奄美のハブ」

元東京大学医科学研究所奄美病害動物研究施設 准教授/農学博士 服部 正策 先生

参加者：28名

【佐賀県】**日本プライマリ・ケア連合学会 佐賀県支部 活動報告****1. 佐賀県支部会員数**

医師：36名 薬剤師：1名 その他：3名 計：40名（令和7年12月現在）

2. 活動報告

会名称/日程	内容	参加人数
佐賀県支部 第10回学術集会 2025年11月22日(土) (ハイブリッド開催)	<p>シンポジウム 「医療現場と医学教育におけるAI活用の進展と課題」</p> <p>座長：多胡 雅毅 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部) 演者：高橋 宏瑞 (順天堂大学医学部 総合診療科) 「AI 患者MIRAが描く、医師育成の新しい未来」 織田 良正 (社会医療法人 祐愛会織田病院) 「AI時代の地域医療戦略」</p> <p>ディスカッサント： 佐々木 陽典 (東邦大学医学部 総合診療・救急医学講座(大森))</p> <p>診断推論戦略セッション 「症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER(特別編10)」</p> <p>座長：多胡 雅毅 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部) 司会：鋪野 紀好 (千葉大学医学部附属病院 総合診療科)</p> <p>ディスカッサント： 志水 太郎(獨協大学 総合診療医学) 佐々木 陽典 (東邦大学医学部 総合診療・救急医学講座(大森)) 高橋 宏瑞 (順天堂大学医学部 総合診療科)</p> <p>プレゼンター： 花田 嵩史 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)</p> <p>指導医・レクチャー： 大石 透 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)</p>	102名

	<p>学生企画（現地開催のみ） 「総合診療医からの挑戦状-君は、どこまで真実にたどり着けるか？」 グループでの診断推論</p>	<p>山下 駿 （佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター） 徳島 緑 （佐賀大学医学部附属病院 医師育成・定着支援センター） ハ板 静香 （佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター） 西 知世 （佐賀大学医学部附属病院 総合診療部） 井手 則子 （嬉野医療センター 総合診療科/教育研修部）</p>	
--	---	---	--

【佐賀県支部第10回学術集会 開催報告】

日本プライマリ・ケア連合学会 九州ブロック佐賀県支部 第10回学術集会をハイブリッド方式で開催いたしました。

今回の学術集会では、プライマリ・ケアの未来を見据えた多彩な企画を実施しました。

◆シンポジウム 「医療・医学教育におけるAI活用の進展と課題」

急速に進化する生成AIは、診療・教育の現場において重要な役割を担い始めています。本シンポジウムでは、順天堂大学の高橋宏瑞先生、織田病院の織田良正先生にご登壇いただき、AIを活用した最新の研究成果や実践例をご紹介いただきました。さらに、医療・医学教育へのAI導入の可能性と課題について、活発な議論を行いました。

◆診断推論戦略セッション 「症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (特別編10)」

恒例の人気企画では、佐賀大学医学部附属病院 総合診療部の若手医師が診断推論のエキスパートに挑戦しました。今回は花田嵩史先生がプレゼンター、大石透先生が指導医として登壇し、臨床現場での推論力を深める実践的なセッションとなりました。

◆学生セッション

未来の医療を担う学生の皆さんにも診断推論に挑戦していただき、学びと成長の場を提供しました。

本学術集会は、プライマリ・ケアの発展に向けて、診療・教育・研究の新たな可能性を共有する貴重な機会となりました。



